

平成26年度 大栄経理学院
第137回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ①

商 業 簿 記

問 1

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
繰 延 内 部 利 益	1,656	繰 延 内 部 利 益 戻 入	1,656	○
繰 延 内 部 利 益 控 除	2,470	繰 延 内 部 利 益	2,470	○

問 2

本支店合併損益計算書				(単位：円)
期首商品棚卸高	(○ 192,224)	売 上 高	(1,952,420)	
当期商品仕入高	(1,287,860)	期末商品棚卸高	(○ 101,690)	
販 売 費	(○ 302,640)	受 取 利 息	(◎ 11,914)	
減 価 償 却 費	(○ 48,850)	有 価 証 券 売 却 益	(2,200)	
貸倒引当金繰入	(◎ 4,546)	受 取 配 当 金	(600)	
支 払 利 息	(○ 4,960)	()	()	
(為 替 差 損)	(◎ 6,310)	()	()	
(投資有価証券評価損)	(○ 11,000)		()	
(当 期 純 利 益)	(○ 210,434)		()	
()	()		()	
	(2,068,824)		(2,068,824)	

問 3

勘 定 科 目		金 額
①	そ の 他 有 価 証 券	◎ 65,000
②	満 期 保 有 目 的 債 券	◎ 79,600
③	その他有価証券評価差額金	◎ 9,100
④	借 入 金	◎ 51,000
⑤	前 払 費 用	◎ 1,423

予想配点 ○1つにつき1点×9コ＝9点
◎1つにつき2点×8個＝16点
合 計 25点

1 級 ②

会 計 学

第1問

(1)	(2)	(3)
持分法	数理計算上の差異	破産更生債権等
(4)	(5)	
将来加算一時差異	組替調整	

予想配点 各1点×5コ＝5点

第2問

設問1

	A社株主	B社株主
P社に対する議決権比率	○ 25 %	○ 75 %

設問2

取得会社名	○ B 社
-------	-------

設問3

A社株式の取得原価	◎ 6,000 千円
B社株式の取得原価	◎ 18,000 千円

設問4

P 社連結財務諸表における金額			
資 本 金	○	12, 000	千円
資 本 剰 余 金	○	9, 000	千円
の れ ん	○	1, 000	千円

予想配点 ◎1つにつき2点×2コ＝4点
○1つにつき1点×6コ＝6点
合計 10点

第3問

設問1	設問2	設問3
7,104 千円	151,326 千円	148 千円
設問4	設問5	
304,253 千円	211 千円	

予想配点 各2点×5コ＝10点

平成26年度 大栄経理学院
第137回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ③

工業簿記

第1問

①	②	③	④	⑤
◎ エ	◎ コ	◎ オ	◎ カ	◎ キ

第2問
問1

仕掛品				(単位：円)
月初仕掛品	(◎	388,976)	製品	(○ 37,876,616)
直接材料費	(◎	3,954,100)	月末仕掛品	(◎ 272,170)
加工費	(◎	33,805,710)		
	(38,148,786)		(38,148,786)

問2

製品A	製品B
◎ 12,593,296円	◎ 20,304,900円

予想配点
◎印1つ2点×11コ＝22点
○印1つ3点×1コ＝3点
合計 25点

平成26年度 大栄経理学院
第137回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ④

原 価 計 算

第1問 問1

直接原価計算方式による月次損益計算書

(単位：円)

	第1工程	第2工程	第3工程
売 上 高	2,560,000	1,230,000	3,640,000
変 動 売 上 原 価 :			
直 接 材 料 費	3,200,000	240,000	160,000
直 接 加 工 費	○ 300,000	○ 120,000	○ 60,000
変動間接加工費	○ 390,000	○ 105,600	○ 30,000
前 工 程 費	0	2,334,000	1,959,720
計	3,890,000	2,799,600	2,209,720
次 工 程 振 替 高	○ 2,334,000	○ 1,959,720	0
差引：変動売上原価	○ 1,556,000	○ 839,880	○ 2,209,720
貢 献 利 益	1,004,000	390,120	1,430,280
固 定 費	○ 720,000	○ 108,000	○ 86,400
工 程 利 益	○ 284,000	○ 282,120	1,343,880

問2

	第1工程	第2工程	第3工程
貢献利益率	○ 39.22%	○ 31.72%	○ 39.29%
工程利益率	○ 11.09%	○ 22.94%	○ 36.92%

第2問

	I 欄	II 欄	
(1)	b	職能別	○
(2)	b	製品原価	○
(3)	d	加算	○

予想配点
○印1つ1点×25コ＝25点

商業簿記 解説

<解説>

I 本店における決算整理事項等（[資料4]より）

1 期末商品棚卸高

省略

2 減価償却

(借) 減 価 償 却 費	40,750	(貸) 建物減価償却累計額	8,750
		(貸) 備品減価償却累計額	32,000

$$\text{建物} : 315,000\text{円} \times \frac{1\text{年}}{40\text{年} - 4\text{年}} = 8,750\text{円}$$

$$\text{備品} : 48,000\text{円} \times \frac{1\text{年}}{5\text{年} - 2\text{年}} \times 200\% (0.666\cdots) = 32,000\text{円}$$

3 有価証券

① A社株式

(借) 投資有価証券	2,000	(貸) その他有価証券評価差額金	2,000
評価差額 : 22,000円 - 20,000円 = 2,000			

② B社株式

(借) 投資有価証券	7,100	(貸) その他有価証券評価差額金	7,100
評価差額 : 350ドル × 100円 - 300ドル × 93円 = 7,100円			

③ C社社債

(借) 投資有価証券	4,075	(貸) 受 取 利 息	98
		(貸) 為 替 差 損 益	3,977

$$\text{償却原価} : (800\text{ドル} - 795\text{ドル}) \times \frac{12\text{ヵ月}}{60\text{ヵ月}} \times 98\text{円} = 98\text{円}$$

$$\text{為替差損益} : (795\text{ドル} + 1\text{ドル}) \times 100\text{円} - (795\text{ドル} \times 95\text{円} + 98\text{円}) = 3,977\text{円}$$

④ D社株式

(借) 投資有価証券評価損	11,000	(貸) 投資有価証券	11,000
評価損 : 80ドル × 100円 - 200ドル × 95円 = △11,000円			

⑤ 問3の解答

$$\begin{aligned} \text{その他有価証券} : & \text{A社株式} 22,000\text{円} + \text{B社株式} 35,000\text{円} (= 350\text{ドル} \times 100\text{円}) \\ & + \text{D社株式} 8,000\text{円} (= 80\text{ドル} \times 100\text{円}) = 65,000\text{円} \end{aligned}$$

$$\text{満期保有目的債券} : \text{C社社債} 79,600\text{円} (= \{795\text{ドル} + 1\text{ドル}\} \times 100\text{円})$$

4 金銭債権債務の換算

① 外貨建売掛金

取得価額不明のため、取得価額70,000円(=700ドル×100円)とした。

② 外貨借入金

(借) 為 替 差 損 益	250	(貸) 借 入 金	2,000
(借) 前 払 費 用	1,750		
(借) 為 替 差 損 益	327	(貸) 前 払 費 用	327

$$\text{直々差額} : (98\text{円} - 98.5\text{円}) \times 500\text{ドル} = \triangle 250\text{円} (\text{為替差損})$$

$$\text{直先差額} : (98.5\text{円} - 102\text{円}) \times 500\text{ドル} = \triangle 1,750\text{円} (\text{前払費用})$$

$$\text{直先差額の配分} : 1,750\text{円} \times \frac{14\text{ヵ月}}{75\text{ヵ月}} \div 327\text{円} (\text{円未満四捨五入})$$

③ 問3の解答

$$\text{借入金} : 102\text{円} \times 500\text{ドル} = 51,000\text{円}$$

$$\text{前払費用} : 1,750\text{円} - 327\text{円} = 1,423\text{円}$$

5 貸倒引当金

(借) 貸倒引当金繰入 2,000 (貸) 貸倒引当金 2,000
 売掛金: $80,000円 \times 2\% = 1,600円$
 外貨建売掛金: $70,000円 \times 3\% = 2,100円$
3,700円

繰入額: $3,700円 - 1,700円 = 2,000円$

(5) 償却債権取立益

(借) 償却債権取立益 100 (貸) 貸倒引当金繰入 100

II 支店の処理等

1. 未達事項の処理等 ([資料3]より)

(1) 未達商品(仕訳の単位: ドル)

(借) 本店より仕入 90 (貸) 本店 90

∴未達整理後「本店より仕入」: $570ドル + 90ドル = 660ドル$

未達整理後「期末商品棚卸高」: $330ドル + 90ドル = 420ドル$

(2) 売掛金(仕訳の単位: ドル)

(借) 本店 100 (貸) 売掛金 100

(借) 貸倒引当金 3 (貸) 貸倒引当金繰入 3

$100ドル \times 3\% = 3ドル$

∴未達整理後「貸倒引当金繰入」: $30ドル - 3ドル = 27ドル$

2. 在外支店支店の損益勘定の換算 ([資料2]より)

借方科目	ドル	換算相場	円	貸方科目	ドル	換算相場	円
繰越商品	390	92	35,880	売上	6,930	98	679,140
仕入	4,500	98	441,000	繰越商品	420	98	41,160
本店より仕入	660		64,680*1	受取利息	112	98	10,976
販管費	1,680	98	164,640	本店	—		1,500*2
減価償却費	90	90	8,100				
貸倒引当金繰入	27	98	2,646				
支払利息	100	98	9,800				
為替差損益			6,030				
本店	15		—				
	7,462		732,776		7,462		732,776

*1 本店の支店へ売上高を移記する。

*2 当期純損失は、在外支店の貸借対照表で算定された金額([資料2]注6)を移記する。

III 合併整理(仕訳の単位: 円)

1 内部取引の相殺

(借) 支店へ売上 64,680 (貸) 本店より仕入 64,680

(借) 受取利息 7,840 (貸) 支払利息 7,840

$80ドル \times 98円 = 7,840円$

* 本店の受取利息の金額が明示されていないので、期中平均レートで換算した。

2 内部利益の戻入れと消去

(借) 繰延内部利益 1,656 (貸) 繰延内部利益戻入 1,656

(借) 繰延内部利益控除 2,470 (貸) 繰延内部利益 2,470

繰延内部利益戻入: $120ドル \times 92円 \times 15\% = 1,656円$

繰延内部利益控除: $(78ドル + 90ドル) \times 98円 \times 15\% \approx 2,470円$ (円未満四捨五入)

IV 本支店合併損益計算書

1 借方項目

- (1) 期首商品棚卸高：158,000円(本店) + 35,880円(支店) - 1,656円(未実現利益) = 192,224円
- (2) 当期商品仕入高：846,860円(本店) + 441,000円(支店) = 1,287,860円
- (3) 販売費：138,000円(本店) + 164,640円(支店) = 302,640円
- (4) 減価償却費：40,750円(本店) + 8,100円(支店) = 48,850円
- (5) 貸倒引当金繰入：2,000円(本店) + 2,646円(支店) - 100円(償却債権取立益) = 4,546円
- (6) 支払利息：3,000円(本店) + 9,800円(支店) - 7,840円(内部取引) = 4,960円
- (7) 為替差損：3,680円(本店) + 6,030円(支店) + 250円 + 327円 - 3,977円 = 6,310円
- (8) 投資有価証券評価損：11,000円

2 貸方項目

- (1) 売上高：1,273,280円(本店) + 679,140円(支店) = 1,952,420円
- (2) 期末商品：63,000円(本店) + 41,160円(支店) - 2,470円(未実現利益) = 101,690円
- (3) 受取利息：8,680円(本店) + 10,976円 - 98円 - 7,840円(内部取引) = 11,816円
- (4) 有価証券売却益：2,200円(本店)
- (5) 受取配当金：600円(本店)

会計学 解説

第1問

- (1) 「持分法に関する会計基準」4参照
- (2) 「退職給付に関する会計基準」11参照
- (3) 「金融商品に関する会計基準」27(3)、28(3)参照
- (4) 「税効果会計に係る会計基準」第二一3参照
- (5) 「包括利益の表示に関する会計基準」9参照

第2問

1. 交付株式数

A社株主：5,000株 \times 0.6＝3,000株

B社株主：9,000株 \times 1.0＝9,000株

2. 議決権比率・・・設問1

A社株主： $\frac{3,000\text{株}}{3,000\text{株}+9,000\text{株}}\times 100=25\%$

B社株主： $\frac{9,000\text{株}}{3,000\text{株}+9,000\text{株}}\times 100=75\%$

3. 取得企業の判定・・・設問2

A社株主の議決権比率25% \leq 50%

B社株主の議決権比率75% $>$ 50% \therefore B社が取得企業となる。

4. 取得原価・・・設問3

(1) 株式移転の仕訳

(借) 関係会社株式(A社株式) 6,000 (貸) 資 本 金 12,000

(借) 関係会社株式(B社株式) 18,000 (貸) 資 本 剰 余 金 12,000

B社株式の取得原価 企業結合日における適正な帳簿価額による純資産額(株主資本の額)
12,000千円 $+$ 3,000千円 $+$ 3,000千円＝18,000千円

A社株式の取得原価 パーチェス法

完全子会社A社(被取得企業)の株主が完全親会社P社に対する実際の議決権比率と同じ議決権比率を保有するのに必要な数の完全子会社A(被取得企業)の株式を、完全子会社Bが交付(時価交付)したとみなして計算する。

交換比率 P社：B社＝1：1、P社：A社＝1：0.6

\therefore B社：A社＝1：0.6

5,000株 \times 0.6 \times 2千円＝6,000千円

資本金・資本剰余金 (6,000千円 $+$ 18,000千円) \times 1/2＝12,000千円

5. 連結財務諸表・・・設問4

(1) P社個別貸借対照表

貸 借 対 照 表				(単位：千円)
関係会社株式(A社株式)	6,000	資 本 金	12,000	
関係会社株式(B社株式)	18,000	資 本 剰 余 金	12,000	
	24,000		24,000	

(2) B社に係る連結仕訳

① 資本連結

(借) 資 本 金 12,000 (貸) 関係会社株式(B社株式) 18,000

(借) 資 本 剰 余 金 3,000

(借) 利 益 剰 余 金 3,000

② B社の純資産の引継

(借) 資 本 剰 余 金 3,000 (貸) 利 益 剰 余 金 3,000

完全子会社(取得企業)の純資産項目をそのまま引き継ぐため、完全親会社で計上した資本剰余金12,000千円から利益剰余金に振り替える。

(3) A社に係る連結仕訳

① 諸資産の時価評価

(借) 諸 資 産 1,500 (貸) 評 価 差 額 1,500
 評価差額: 12,000千円 - 10,500千円 = 1,500千円

② 資本連結

(借) 資 本 金 2,500 (貸) 関係会社株式(A社株式) 6,000
 (借) 資 本 剰 余 金 600
 (借) 利 益 剰 余 金 400
 (借) 評 価 差 額 1,500
 (借) の れ ん 1,000

(4) P社連結貸借対照表

連 結 貸 借 対 照 表				(単位：千円)			
諸	資	産	42,000	諸	負	債	19,000
の	れ	ん	1,000	資	本	金	12,000
				資	本	剰 余 金	9,000
				利 益	剰 余 金	3,000	
43,000				43,000			

諸資産: 10,500千円 + 1,500千円 + 30,000千円 = 42,000千円

のれん: 上記(3)②

諸負債: 7,000千円 + 12,000千円 = 19,000千円

資本金: 12,000千円 + 2,500千円 + 12,000千円 - 2,500千円 - 12,000千円 = 12,000千円

資本剰余金: 12,000千円 + 600千円 + 3,000千円 - 600千円 - 3,000千円 - 3,000千円 = 9,000千円

利益剰余金: 400千円 + 3,000千円 - 400千円 - 3,000千円 + 3,000千円 = 3,000千円

第3問 (仕訳の単位: 千円)

1. X1年4月1日 (機械の取得)

(借) 機 械 907,104 (貸) 現 金 預 金 900,000
 (貸) 資 産 除 去 債 務 7,104

① 資産除去債務: 8,000千円 × 0.88797 ≒ 7,104千円 (千円未満四捨五入)・・・設問1

② 機 械: 900,000千円 + 7,104千円 = 907,104千円

2. X2年3月31日 (決算日)

(借) 減 価 償 却 費 151,184 (貸) 機械減価償却累計額 151,184
 (借) 利 息 費 用 142 (貸) 資 産 除 去 債 務 142

① 減価償却費: 907,104 ÷ 6年 = 151,184千円

② 利息費用: 8,000千円 × (0.90573 - 0.88797) ≒ 142千円 (千円未満四捨五入)

③ 合計: 151,184千円 + 142千円 = 151,326千円・・・設問2

3. X3年3月31日 (決算日)

(借) 減 価 償 却 費 151,184 (貸) 機械減価償却累計額 151,184
 (借) 利 息 費 用 145 (貸) 資 産 除 去 債 務 145

① 減価償却費: 907,104 ÷ 6年 = 151,184千円

② 利息費用: 8,000千円 × (0.92385 - 0.90573) ≒ 145千円 (千円未満四捨五入)

4. X4年3月31日 (決算日)

(借) 減 価 償 却 費 151,184 (貸) 機械減価償却累計額 151,184
 (借) 利 息 費 用 148 (貸) 資 産 除 去 債 務 148

① 減価償却費: 907,104 ÷ 6年 = 151,184千円

② 利息費用: 8,000千円 × (0.94232 - 0.92385) ≒ 148千円 (千円未満四捨五入)・・・設問3

5. X5年3月31日（決算日）

(借) 減 価 償 却 費	151,184	(貸) 機 械 減 価 償 却 累 計 額	151,184
(借) 利 息 費 用	151	(貸) 資 産 除 去 債 務	151
(借) 機 械	1,885	(貸) 資 産 除 去 債 務	1,885

① 減価償却費：907,104 ÷ 6年 = 151,184千円

② 利息費用：8,000千円 × (0.96117 - 0.94232) ≒ 151千円（千円未満四捨五入）

③ 見積額の増加分：(10,000千円 - 8,000千円) × 0.94260 ≒ 1,885千円（千円未満四捨五入）

※ 割引前の将来キャッシュ・フローの見積りの変更

割引前の将来キャッシュ・フローに重要な見積りの変更が生じた場合の当該見積りの変更による調整額は、資産除去債務の帳簿価額及び関連する有形固定資産の帳簿価額に加減して処理する。（「資産除去債務に関する会計基準」10）

割引前の将来キャッシュ・フローの見積りの変更による調整額に適用する割引率

割引前の将来キャッシュ・フローに重要な見積りの変更が生じ、当該キャッシュ・フローが増加する場合、その時点の割引率を適用する。これに対し、当該キャッシュ・フローが減少する場合には、負債計上時の割引率を適用する。（「資産除去債務に関する会計基準」11）

∴ X5年3月31日時点での機械装置の帳簿価額：

907,104千円 - 151,184千円 × 4年 + 1,885千円 = 304,253千円・・・設問4

6. X6年3月31日（決算日）

(借) 利 息 費 用	211	(貸) 資 産 除 去 債 務	211
(借) 減 価 償 却 費	152,127	(貸) 機 械 減 価 償 却 累 計 額	152,127

① 利息費用：8,000千円 × (0.98039 - 0.96117) ≒ 154千円（千円未満四捨五入）

2,000千円 × (0.97087 - 0.94260) ≒ 57千円（千円未満四捨五入）

合計 211千円・・・設問5

② 減価償却費：907,104千円 ÷ 6年 + 1,885千円 ÷ 2年 ≒ 152,127千円（千円未満四捨五入）

工業簿記 解説

第1問

「原価計算基準の設定について」参照。

第2問（単位：円）

【本問のポイント】

第1工程完成品は半製品のように第1工程完成品在庫として取扱う。また、下記の第1工程完成品勘定が答案用紙の仕掛品勘定となる。第2工程で仕損品が発生するが、月末仕掛品がないので完成品原価に含めて計算すればよい。

1. 製品A

第1工程仕掛品		第1工程完成品		第2工程仕掛品	
	完成 1,010個	月初 20個	払出 1,014個	投入 1,014個	完成 1,010個
		完成 1,010個	月末 16個		仕損 4個

(1) 第1工程仕掛品

直接材料費

材 料	
月初有高 100個 204,700	払出高 1,020個 2,090,700
当月仕入 1,000個 2,050,000	月末有高 80個 164,000

月初有高：@2,047×100個＝204,700

当月仕入：@2,050×1,000個＝2,050,000

月末有高：@2,050×80個＝164,000

払出高：204,700＋2,050,000－164,000＝2,090,700

第1工程加工費

加工費正常配賦率@7,070×1,050時間＝7,423,500

第1工程投入原価（第1工程完成品原価）

2,090,700＋7,423,500＝9,514,200

(2) 第1工程完成品勘定

第1工程完成品

月初有高 20個 191,120	払出高 1,014個 9,554,600
当月完成 1,010個 9,514,200	月末有高 16個 150,720

月初有高：@9,556×20個＝191,120

当月完成：(1) 第1工程完成品原価より

月末有高：9,514,200×16個/1,010個＝150,720

払出高：191,120＋9,514,200－150,720＝9,554,600

(3) 第2工程仕掛品

第2工程加工費

加工費正常配賦率@6,060×1,016時間＝6,156,960

第2工程投入原価（第2工程完成品原価）

6,156,960＋9,554,600＝15,711,560

(4) 製品A勘定

製 品 A

月初有高 8個 124,480	売上原価 1,012個 15,742,704
当月完成 1,010個 15,711,560	月末有高 6個 93,336

月初有高：(資料より)

当月完成：(3) 第2工程完成品原価より

月末有高：15,711,560×6個/1,010個＝93,336

売上原価：124,480＋15,711,560－93,336＝15,742,704

(5) 売上総利益

売上高@28,000×1,012個－売上原価15,742,704＝12,593,296・・・問2

2. 製品B

第1工程仕掛品		第1工程完成品		第2工程仕掛品	
	完成 1,210個	月初 16個	払出 1,216個	投入 1,216個	完成 1,212個
		完成 1,210個	月末 10個		仕損 4個

(1) 第1工程仕掛品

直接材料費

材	料
月初有高 200個 292,600	払出高 1,220個 1,863,400
当月仕入 1,200個 1,848,000	月末有高 180個 277,200

月初有高：@1,463×200個＝292,600

当月仕入：@1,540×1,200個＝1,848,000

月末有高：@1,540×180個＝277,200

払出高：292,600＋1,848,000－277,200＝1,863,400

第1工程加工費

加工費正常配賦率@7,070×1,815時間＝12,832,050

第1工程投入原価（第1工程完成品原価）

1,863,400＋12,832,050＝14,695,450

(2) 第1工程完成品勘定

第1工程完成品

月初有高 16個 197,856	払出高 1,216個 14,771,856
当月完成 1,210個 14,695,450	月末有高 10個 121,450

月初有高：@12,366×16個＝197,856

当月完成：(1) 第1工程完成品原価より

月末有高：14,695,450×10個/1,210個＝121,450

払出高：197,856＋14,695,450－121,450＝14,771,856

(3) 第2工程仕掛品

第2工程加工費

加工費正常配賦率@6,060×1,220時間＝7,393,200

第2工程投入原価（第2工程完成品原価）

7,393,200＋14,771,856＝22,165,056

(4) 製品B勘定

製 品 B

月初有高 15個 274,500	売上原価 1,215個 22,220,100
当月完成 1,212個 22,165,056	月末有高 12個 219,456

月初有高：(資料より)

当月完成：(3) 第2工程完成品原価より

月末有高：22,165,056×12個/1,212個＝219,456

売上原価：274,500＋22,165,056－219,456＝22,220,100

(5) 売上総利益

売上高@35,000×1,215個－売上原価22,220,100＝20,304,900・・・問2

3. 仕掛品勘定・・・問1

月初仕掛品：製品A 191,120＋製品B 197,856＝388,976

直接材料費：製品A 2,090,700＋製品B 1,863,400＝3,954,100

加工費：製品A (7,423,500＋6,156,960)＋製品B (12,832,050＋7,393,200)＝33,805,710

製 品：製品A 15,711,560＋製品B 22,165,056＝37,876,616

月末仕掛品：製品A 150,720＋製品B 121,450＝272,170

原価計算 解説

第1問 (単位：円)

【本問のポイント】

〔資料〕Ⅰの×6年5月の工程別月次損益計算書のデータから次工程振替高と売上原価の配分割合を求めなければならない。

問1

1. 〔資料〕Ⅰの？の算定と配分割合

第2工程

前工程費 : 2,640,000 (第1工程の次工程振替高)
 計 : 3,360,000 (直接材料費240,000＋直接加工費120,000＋間接加工費360,000
 ＋前工程費2,640,000)
 差引：売上原価 : 1,008,000 (売上高1,230,000－売上総利益222,000)
 次工程振替高 : 2,352,000 (計3,360,000－売上原価1,008,000)

第3工程

前工程費 : 2,352,000 (第2工程の次工程振替高)
 計 : 2,752,000 (直接材料費160,000＋直接加工費60,000＋間接加工費180,000
 ＋前工程費2,352,000)
 売上原価 : 2,752,000 (計2,752,000－次工程振替高0)
 売上総利益 : 888,000 (売上高3,640,000－売上原価2,752,000)

第1工程の配分割合

次工程振替高 : $2,640,000 \div 4,400,000 = 60\%$
 売上原価 : $1,760,000 \div 4,400,000 = 40\%$

第2工程の配分割合

次工程振替高 : $2,352,000 \div 3,360,000 = 70\%$
 売上原価 : $1,008,000 \div 3,360,000 = 30\%$

第3工程の配分割合

売上原価 : 100%

2. 〔資料〕Ⅱの間接加工費の内訳

第1工程変動間接加工費 : 直接加工費300,000×130%＝390,000
 第2工程変動間接加工費 : 直接加工費120,000×88%＝105,600
 第3工程変動間接加工費 : 直接加工費60,000×50%＝30,000
 間接加工費合計額 : 第1工程間接加工費900,000＋第2工程間接加工費360,000＋第3工程間接加工費180,000＝1,440,000 (〔資料〕Ⅰより)
 第3工程固定間接加工費 ; 間接加工費合計1,440,000－(第1工程固定間接加工費720,000＋第2工程固定間接加工費108,000＋第1工程変動間接加工費390,000＋第2工程変動間接加工費105,600＋第3工程変動間接加工費30,000)＝86,400

3. 直接原価計算方式による月次損益計算書

(1) 第1工程

直接加工費 : 300,000 (資料より)
 変動間接加工費 : 390,000 (上記2.より)
 計 : 3,890,000 (直接材料費3,200,000＋直接加工費300,000＋変動間接加工費390,000)
 次工程振替高 : 2,334,000 (計3,890,000×配分割合60%)
 変動売上原価 : 1,556,000 (計3,890,000×配分割合40%)
 貢献利益 : 1,004,000 (売上高2,560,000－変動売上原価1,556,000)
 固定費 : 720,000 (資料より)
 工程利益 : 284,000 (貢献利益1,004,000－固定費720,000)

(2) 第2工程

直接加工費	: 120,000 (資料より)
変動間接加工費	: 105,600 (上記2.より)
前工程費	: 2,334,000 (第1工程振替高)
計	: 2,799,600 (直接材料費240,000+直接加工費120,000+変動間接加工費105,600 +前工程費2,334,000)
次工程振替高	: 1,959,720 (計2,799,600×配分割合70%)
変動売上原価	: 839,880 (計2,799,600×配分割合30%)
貢献利益	: 390,120 (売上高1,230,000－変動売上原価839,880)
固定費	: 108,000 (資料より)
工程利益	: 282,120 (貢献利益390,120－固定費108,000)

(3) 第3工程

直接加工費	: 60,000 (資料より)
変動間接加工費	: 30,000 (上記2.より)
前工程費	: 1,959,720 (第2工程振替高)
計	: 2,209,720 (直接材料費160,000+直接加工費60,000+変動間接加工費30,000 +前工程費1,959,720)
次工程振替高	: 0 (資料より)
変動売上原価	: 2,209,720 (計2,209,720×配分割合100%)
貢献利益	: 1,430,280 (売上高3,640,000－変動売上原価2,209,720)
固定費	: 86,400 (貢献利益1,430,280－工程利益1,343,880)

問2

1. 第1工程

貢献利益率: 貢献利益1,004,000÷売上高2,560,000=0.3921875 ⇒ 39.22%

工程利益率: 工程利益284,000÷売上高2,560,000=0.1109375 ⇒ 11.09%

2. 第2工程

貢献利益率: 貢献利益390,120÷売上高1,230,000=0.317170 ⇒ 31.72%

工程利益率: 工程利益282,120÷売上高1,230,000=0.229365 ⇒ 22.94%

3. 第3工程

貢献利益率: 貢献利益1,430,280÷売上高3,640,000=0.392934 ⇒ 39.29%

工程利益率: 工程利益1,343,880÷売上高3,640,000=0.369197 ⇒ 36.92%

第2問

解答参照